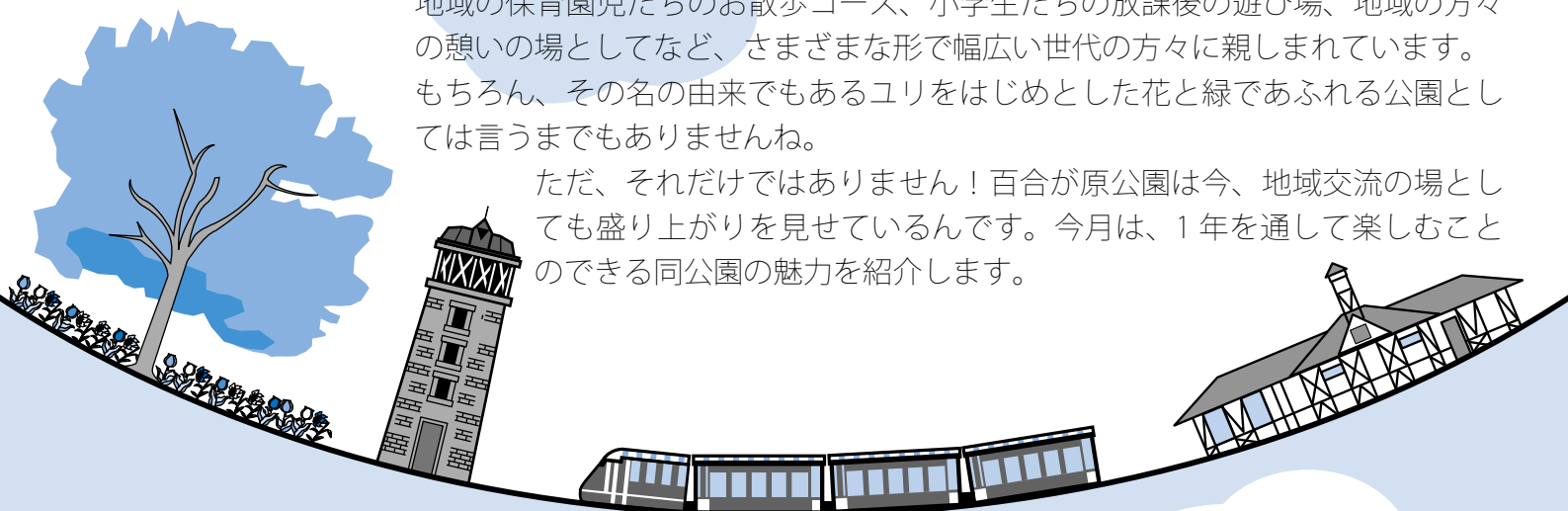


季節の花と緑を求めて

百合が原公園へ

北区が誇る、市内でも有数の総合公園である「百合が原公園」。地域の保育園児たちのお散歩コース、小学生たちの放課後の遊び場、地域の方々の憩いの場としてなど、さまざまな形で幅広い世代の方々に親しまれています。もちろん、その名の由来でもあるユリをはじめとした花と緑であふれる公園としては言うまでもありませんね。

ただ、それだけではありません！百合が原公園は今、地域交流の場としても盛り上がりを見せているんです。今月は、1年を通して楽しむことのできる同公園の魅力を紹介します。



百合が原公園 キホンの”キ“

昭和54年、「世界の百合広場」を中心に造成がスタートした百合が原公園。

昭和61年には「'86さつぽろ花と緑の博覧会」が開催され、期間中、延べ147万人の人々にぎわいました。今ではおなじみとなっている「温室」や「世界の庭園」「リリートレイ」なども、この時期に造られたもの。その後、花壇広場や「ロックガーデン」などが整備され、昭和62年に現在の姿で全面オープンしました。

公園では、合計約6000種類もの植物が育てられています。

「世界の百合広場」では原種や園芸品種など、世界中から集められた約100種類のユリが、「温室」ではツバキやアザレア、ゼラニウムなど約500種類の植物が育てられ、1年を通して季節の花や植物を楽しむことができます。

リリートレイン

「リリトレ」の愛称で親しまれ、園内の1周約1.2キロメートルを約12分かけて走る列車です。旧国鉄の軌道を再利用して造られているため、車両の仕様も本物の鉄道と同じ。公園で集められた廃食用油を使ったバイオ燃料を利用して運行しています。気持ちの良い風に吹かれながら、園内の景色や沿線の草花をのんびりと楽しんでみませんか？

乗車料金／小学生以上1回360円

運行時間／平日、土曜：10時～15時30分

日曜、祝・休日：10時～15時40分

運行期間／4月～10月（9月までは毎日、10月は土日祝日（10時～15時30分）のみ）

緑のセンター温室

温室では、1年を通してさまざまな花や植物が展示されています。7月の「ユリ月間」や9月の「ダリア展」など、季節の花の展示会や育て方の講習会なども行われています。また「ミモザコンサート」など、温室内でコンサートが行われることも。もちろん冬期間も営業しているので、いつでも季節の花と緑を楽しむことができます。

入館料／高校生以上130円

開館時間／8時45分～17時15分

休館日／月曜（祝・休日の場合は次の平日）
12月29日～1月3日

”定番”と言えはココ！
百合が原公園